

公民館調査結果について

今後の本市の生涯学習推進施策のあり方を検討するための基礎資料として、生涯学習に深くかかわる市民から見た本市の生涯学習の現状と課題について把握することを目的として、市内 24 の公民館で活動する地域学習推進員を対象とした調査を実施しました。調査の概要は以下の通りです。

対象：市内の公民館で地域学習推進員として講座の企画・運営等に携わる市民（24 公民館に
対しいずれかの推進員に代表して回答を依頼）

方法：自由記述形式のヒアリングシートを配付・回収

期間：2020 年 7 月 2 日～7 月 17 日

結果：24 公民館より回答（回収率 100%）

各推進員からの回答を集約した結果は以下の通りです。

（1）これまでの公民館における講座企画を行う上で、重視することや課題と考 えていること、地域の市民のニーズ等についての考えについて

① 講座を企画する上で重視していること

ほとんどの公民館が、参加者数の獲得と同時に、地域課題・社会問題への取り組みや幅広い世代の参加を得ることを意識した企画を実施しています。一部に、推進員の意識によるばらつきや、子どもに関することは「母親」といったジェンダーバイアスが見られます。地域課題よりも参加者数を見込めることを重視しているという意見も複数あります。

主な意見
◇市民ニーズ的には、季節に関する考え方、前年度までの人気講座等の検討は参加者数等を重視した計画と言えます。又、どちらかと言えば参加者数は多くなりませんが、私たちの生活に密着した社会的ニーズと云える、例えば水、ゴミ、電気、介護、防災等に関するような課題もバランスよく計画しています。地域的には、西宮市の歴史的遺産施設や郷土歴史を学べるよう計画しています。
◇地域の方に喜んでもらえる講座を心掛けており、参加人数にはこだわらない。世代交流の観点からは、土日の開催が望ましいが夏休みぐらいしか開催していない。
◇一般向けの講座だけでなく、幼児・子供・親子向けの講座も適宜企画する。なるべく多くの参加者が得られるよう、講座内容・実施時期・開催場所を検討する。毎回参加者の多い人気講座は、毎年もしくは隔年で必ず企画する。必須課題である「地域にかかわる課題5回」を何とか満足するよう企画内容を検討する。
◇地域的に高齢者が多く、どうしても高齢者向けのニーズに沿った講座になる。子供向けには、夏休み工作教室、クッキー作りなどの小学生向け講座はあるが、幼稚園児・保育園児とお母さんがいっしょに楽しめる講座を復活させたい。

- ◇地域住民の知的要求を如何にくみ上げ、それに対応するか。30歳から50歳代の人たちにも参加したいと思うような講座とそれに対応する講座の曜日時間帯の設定。できるだけ地域内の人に講師になってもらう。
- ◇地域の方々が楽しみにしている講座を続けていく事。講座に参加される方の対象年齢が偏らないように気を付ける事。地域の方々に学びのきっかけになる様な講座
- ◇これまでに企画されてきた講座を再度検討して人気のあった物（参加人数）を続けていくようにしています。
- ◇地域住民の希望をくみ取る企画にしたいとは意識しています。例えば地域文化に関しては、日本酒・西宮神社など。またママさん対象で「ベビーマッサージ」など。
- ◇高齢者・中年・若者・幼児（ママと一緒に）等々、世代をできる限り平均的に企画する。心と身体を豊かに、維持向上できるような講座をできるだけ均等に取り上げる。
- ◇講座の企画にあたっては、ある程度の参加者数を見込めそうな講座を選定している。平日午後に参加が可能な方々となれば、高齢な方々がメインとなるので、講座の方向性も決まってきます。幼児との親子講座、小学生対象講座等も参加世代の拡大のため重要と考えます。
- ◇1「講座区分」別講座数のバランス、2年間講座数の達成、3参加数が望めそうな講座。上記を気にしながら講座企画をしている。つまり、地域のニーズや課題に沿ったものというより、講座ノルマの達成が第一になっている。
- ◇まず公民館に足を運び、気軽に生涯学習を行うことの足がかりとなるよう、地域の方に興味をもっていただくような、幅広い年代の方にフィットするような内容となるよう企画しています。

② 地域の市民の学習ニーズの高い分野や講座の要望のある分野

文化・芸術に関する講座や高齢者向けの講座という回答が多くなっています。また、大河ドラマ解説や時事問題の解説についても複数の公民館が回答しています。多くの公民館が、高齢者中心の文化・芸術・生活・エンターテイメント系の講座と、夏休み等の親子向けの講座に取り組んでいる点で共通しており、地域課題への取り組みや地域別の特色は明確ではない状況です。若い世代の参加を得ることに苦心している状況もうかがえます。

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ◇文化教養的な講演 ◇ジャンルを問わず音楽の講座は要望が強い。 ◇高齢者向けの健康教室、ヨガ、歌の教室等 ◇高齢者（60歳～80歳）が多いため、健康（医療）講座、歴史・文学、演奏講座に人気がある。 ◇医療、健康、介護に関する講座は高齢社会を反映して関心が高い。 ◇小学生の夏休み工作教室 ◇婦人講座（料理・手芸ほか） ◇地元、近辺の地理の構成と成り立ち、地域史など。連続講座を望む声もある。

- ◇霜澤先生の大河ドラマ解説や、元毎日新聞論説委員のかたによる「時事解説」は毎回6～70名の来場があります。
- ◇集客が間違いないのは「音楽」に関すること、地元の方が講師に来られるとき。当館は来られる方の年齢が高いので、理屈より楽しさが求められているように思います。
- ◇音楽関連（合唱、コンサート等）、演芸（落語等）、大河ドラマ等はニーズの高い分野です。また、幼稚園児（保育園児）、小学生を対象とした分野、例えば、クリスマス会、夏休み工作教室、お菓子作りも要望の高い講座と考えられます。
- ◇高齢者向けの講座は人気があるが、若者向けの講座は人気がない。今の時代、SNS等で情報が得られ、若者の志向は公民館講座を必要としていないと思われます。
- ◇地域ニーズや課題の正確な把握ができていないと認識しています。その中で、特に、若い世代の提案や要求を探るツールを持たないまま何年も経過しています。

③ 現在解決が求められている、今後講座等で取り上げたいと考える地域の課題

「特にない」という回答が全体では多くなっています。回答の中では、地域の高齢化に対応するものや地域活動の担い手の育成、地域防災等に関わる意見が複数あります。

主な意見
◇特にない。しかし、自治会の組織率の低下や極端なところは解散という現状の中、公民館の直接目的からは外れるが、講座を通じて地域の連帯や交流をはかる場にはできないかと思う。
◇少子高齢化問題（独居老人問題、認知症など）。地域の住民がどう寄り添っていければよいのか考えられる講座が必要である。
◇高齢者にも自分で出来る趣味、体力づくり等々。例：若、俳句、数独（ナンバープレーズ）、手近な名所ハイキング
◇高齢者の多い地域であるので、医療関係、健康増進関係講座、老後の経済問題等の講座を考えたい。
◇高齢社会に係わる問題、子育て世代に係わる問題
◇昨今、自転車のマナーが悪く言われており、実際に事故も増えているので、小学生は入学時に講習を開くようですが、お年寄りも含め、親の世代にまで自転車の実践講習を進めたい。
◇地域の成り立ちに関心をもってもらい、公民館講座を含め、他の活動にも参加してもらえること
◇地域防災、地域防犯、ゴミ処理対策の学習
◇地域に合う防災のあり方など
◇幼児教育に関する講座
◇人権・同和に関すること
◇校区の中学校のブラスバンド部の方をお願いして演奏会をしていただきました。内容もとても素晴らしく集客もいままでの最高人数でした。会場と中学もすぐ近く 毎年でもお願いしたいと思いましたが、公立の学校の為謝金を払う事が出来ません。

④ 講座の企画を行う上で特に課題だと考えられることや、行政の支援が必要だと考えられること

地域のニーズの把握や広報について、行政の支援を求める意見が特に多くなっています。幅広い人の参加を得るための講座づくりへの支援や、様々な人が講座に参加するための支援（託児・手話等）についても意見があります。推進員の確保や活動の広報の必要についても指摘されています。講師紹介への不満が複数あり、バス研修ができなくなったことを惜しむ意見も多くなっています。感染症対策を求める意見もあります。

主な意見
◇地域住民の関心の多さがどこにあるのか、これを把握するのが難しい。行政として市民が要望する学習課題を把握し、公民館に提示してはどうか。
◇参加人数が少ないので、広報についてどうすればよいかわかりません。せっかく企画しても参加者が少ないと講師の方にも失礼な気がする。
◇地域に住んでいる方の情報収集力を強化していく事
◇推進員会で常に地域住民の声を反映するようにしているが、推進員会として調査能力がないため（講座のアンケートで聞いているが）地域住民の学習意欲に対応できているのか心配がある。その反面、特に講座の内容がよかったときは参加者が少なくて残念と思うことがある。推進員会の予算で広報はあるが、広聴がないので例えばそれなりの郵便料（アンケート返信）など考慮（増額）してもらえればありがたい。
◇今どき、講座参加者のための幼児ボランティアの手当が？と思うような額であり、一考を要すると思います。
◇体にハンディを持たれている方が心置きなく参加できるように、例えば英会話で聴力にハンディキャップをお持ちの方向けに「手話」の方にお手伝いいただくとか。
◇地域住民へ地域学習推進員会の活動の認識を深めていただけるような新しい広報システムの構築
◇推進員の確保・人選（推進員活動の説明なしに引き受けているひとがいる。）
◇現在の講座はほとんど講師に依頼しています。推進員での講座と費用の増額も考えていかなば固定化していく。又推進員の研究費も少なく、これからの候補者確保が難しくなっている。
◇紹介されている講師のレベルの差があるので、評価をしてから紹介してほしい。講師の申し出のままに紹介しっぱなしにしないでほしい。
◇講師紹介をしていただいておりますが、数ある中で、これはと思うようなものが少ないように思う。
◇30代、40代の方々の参加者を増やすための講座の企画を工夫する。福祉、災害、環境に関わる講座の企画に関してご支援いただきたいと思っております。
◇バス研修がとても人気でしたが、バスの老朽化、運転者のスキル、行政内での問題により、この講座ができない状態です。
◇一昨年まで社会見学をテーマで、西宮市のバスを利用して県内を中心に、幅広い年齢・職業の参加者でおこなっていたが、バスの利用ができなくなり惜しむ声が多い。

◇いくつかの公民館で講演されている講座のWeb配信、コミュニティラジオでの講演、複数の公民館共催。企画などの会議もオンライン会議ができるようにしてほしい。

(2) 生涯学習の推進や地域づくりに関しての考えについて

① 公民館と同じ建物内の施設と連携して実施している事業・講座、または今後取り組みたいこと

特にないという回答が多くなっています。一部に積極的な連携の事例が紹介されていますが、多くの場合は他施設の会場を利用するという連携にとどまっており、施設間連携についてあまり積極的な意見はありませんでした。

主な意見
◇高須公民館の1階には児童センターが入っており、センターとタイアップして、小学生のクッキーづくりを実施している。今後、子供達の情報をもっているセンターと協力して、新講座を企画したい。
◇今年中止しましたが、年始に「寄席」講座を山口ホールで開催しています。
◇同じ建物ではありませんが、中央図書館・香櫨園市民センター等で世話人講座を実施しています。
◇市のサービスセンター3階にホールがあり、主にその場所で講座を開催しています。
◇同じ建物に図書館分室があり近くには児童館があるが、問のような観点は全くなくはないが、取り組む意志はない。それぞれの館がその立場で、多面的な事業を取組めばよいと考える。
◇瓦木消防署と共同部分もあり、防災、AEDなど講座を引き続き開催していき、地域の方の日常の危機意識の向上になるようにしていきたい。講師の消防職員の派遣がスムーズであることを望みます。

② 地域の学校・地域団体・民間企業等と連携して実施している事業・講座または今後取り組みたいこと

地域団体や児童センター等と連携した講座や学校と連携した事業、地域の大学や医療施設の教職員による講座等、各公民館で様々な取組みが見られる一方、無回答または連携はないという回答もあり、公民館によるばらつきが大きくなっています。他団体との連携の仕組みがうまくいっていないという指摘もあります。

主な意見
◇世話人講座を毎年、実施しています。世話人会は、社協、浜脇幼稚園PTA、子供会、老人クラブ連合会、コミュニティ委員会です。浜脇は世話人講座が少し多すぎると思っており、ウェイトを下げるよう意識しています。
◇関学の先生方による講座、神戸女学院の先生方による講座、地区の医師による講座、犬養万葉記念館に協力する会の方による講座、自然を楽しむ会の方による講座

- ◇明和病院との健康医療講座、公民館定期使用グループとの共催
- ◇小中学校PTAとの家庭教育講座、女性講座、校区老人クラブ連合会と共催、幼稚園で親子クリスマスコンサートや、体を動かして遊びましょう、環境衛生との共催講座など
- ◇阪神競馬場の協力で原則3月に小学校4年生から中学校2年生までを対象に乗馬教室を実施。地域の薬局の薬剤師に薬、介護、健康等の講座の協力を得ている。地元に住んでいる応急手当普及員よりAEDの使い方と救急入門コースの講座を実施。
- ◇医療講座は明和病院。クリスマスコンサートは鳴尾南中学、高須中学、武庫川女子大。トライやるウィークは高須中学。クッキーづくりは高須児童センター。寄せ植え（正月用）作りはリゾ鳴尾浜。今後は地元住民の方の協力を得たい。
- ◇地域団体であるコミュニティ協議会とは共催講座を企画することがある。児童育成センターとは共催ではないが、該当児童を主対象とした講座を毎年企画している。
- ◇【学校】教養部あいさつフェスタ、理科実験（夏休み）、むかしあそび。【あんしん窓口】あんしん窓口講座。【青愛協】卓球、バドミントン、おじいちゃんおもちゃ作り、ディスコン大会
- ◇ぶらり街歩き「松山大学温山記念会館」と「武庫川女子大学甲子園会館」の見学をさせて頂いています。スマートホン講座（高齢者向け、KDDI）。出前料理教室（明治乳業）。NHK大河ドラマ（高校の歴史の先生に講師依頼）。
- ◇地域活動に協力的な企業（例：JFE、酒造メーカーなど）もあるので、今後検討していきたい。
- ◇幼稚園と小学校のPTAさんと社会福祉協議会さんと各年に1回ずつ共催で講座を開いています。現在子供や若い層向きの講座がありませんので、今後は少しずつ取り入れていけたらいいと思っています。
- ◇他団体との連携講座はなし。今後も連携の予定はありません。講座参加者拡大のため、地域団体・老人クラブ等への講座のPRは行う意味があると思います。
- ◇地域内には数多くの活動諸団体が存在しています。それぞれが、設定された目的に沿って多少の活性度の違いはあれ、最小限の活動をしています。実体的には相互の交流・提携などは皆無と見受けられます。地域には「地域ネットワーク会議」という組織がありますが、構成メンバーから見て、地域全体を一つに連携した活動推進を目的に発足されたものではないかと推測しますが、残念ながら、「地区ネットワーク会議」そのものが、活性度が薄くその役割をはたしていないように見受けられています。その原因は、いろいろあるでしょうが、「ボランティアの人材が、その責を負う」には、自ずと限界があるものと思います。

③ より多くの市民が生涯学習で学び、また学んだことを活かして地域のために活動するようになるためには、どのような取組みや仕組みがあると良いと思うか

地域団体や関係機関との連携の必要性について複数の意見があります。また、楽しく参加する意欲を喚起するような仕掛けづくりについても提案されています。推進員のスキルの問題や、まずはきっかけづくりが必要という意見も複数あります。

主な意見

- ◇私自身も公民館地域学習推進委員会の活動を通じて、地域自治会、スポーツ 21 組織、他の公民館活動等の関係性や仕組み等の理解を深めることが出来ました。様々な地域組織が活動の目的、役割や内容等を理解しあえるような相互交流の場や機会をつくることが重要と考えます。
- ◇推進員会と自治会との連携を深めることも大切であると考えます。
- ◇中央図書館にも毎月チラシを置かせてもらっていますが、先日、担当が変更されたとのことで、挨拶を交わした際に、たまたま公民館のイベントの会場で関連図書を紹介をさせていただきたいとの申し入れがあり、受けていきたいと考えています。地域の施設、組織とは積極的に関わっていくべきと考えています。
- ◇この間いろいろな講座を取組んできたが、その蓄積がまったく見えない。この点で、定期使用グループと違ってもどかしさを感じる。今後何か形が残るもの、目に見えるもの（新型コロナウイルスの感染拡大で中止となった「連続講座 地域発見マップづくり」など）に取り組みたい。できれば成果を地域全体に報告できればと思う。
- ◇「学習」というと堅苦しいイメージがあるので、例えばクリーンキャンペーンに参加して、ゴミを拾って、汗をかくなど屋外で体を動かすことに参加したいと意欲を湧かせる取組みが必要です。生涯学習手帳に、各行事参加時にスタンプを押してもらい、多く集まればオリジナルのタオルを渡すなどすれば、意欲が湧く。
- ◇内容がわかり易く、楽しい講座であれば参加者も増えると思うが、公民館ごとのアプリを作ってゲームに続くような「しかけ」があれば、今まで公民館に来ていなかった人にも参加していただけるようになるかもしれないと思います。
- ◇推進員の知識・経験の向上、おとな向け講座を充実させる。
- ◇地域学習推進員になる方が、公募でなる方よりも、圧倒的に推薦でなる方が多い。地域の認知度も低い状況から、西宮市全体で PR 活動をしてはどうでしょうか。基本的にはボランティア活動ではあるが、推進員のスキルの程度によっては担当が偏る可能性がある。西宮全体の共通した活動に必要な必須項目の整理をしては。
- ◇生涯学習の推進や地域づくりに関して、現役世代の公民館講座の参加を増加することが重要と考えます。公民館講座の参加者は、シニア層と、小学生、幼児とその保護者がほとんどです。現役世代が公民館講座の参加していただくために、講座の土・日曜日の開催、現役世代の関心がある講座の開催が重要と考えています。
- ◇地域の方が学んで、地域のために生かすということは少しハードルが高いです。まず公民館に足を運びやすくし、広く公民館活動を知ってもらおうのが、先と考えます。
- ◇まずはきっかけづくりだと思いますので、(地域としては、生涯学習の場を求めている方が多いように感じますので) イベント広報を増やし、それを魅力的なものにしていく仕組み(市報でのカラー特集など)

④ 生涯学習や地域づくりを推し進めていくうえで、何が課題となるか

推進員の確保や人選に関する意見が多くなっています。また、世代間交流や子育て世代の参加の拡大の必要性についても指摘されています。地域の実情に応じた取り組みの必要や、住民ニーズの把握の困難についても指摘されています。事業や情報が現在の利用者には届かない問題や、地域の住民意識の問題、新型コロナ対策による制限等についても意見があります。

主な意見
◇推進員になってくれる人が増えるにはどうしたらよいか教えてほしい。
◇次の推進員の選考がどの館も大変のようです。6年間の任期は長いよう思いました。
◇推進員の人選・やる気。市（公用）バス使用制限のため、館外学習が実施できる状況にない。
◇制度を継続的に推進するための人材養成と人材確保。リモート授業の場合は、それらのインフラの不足。
◇生涯学習については特にやりづらいつと感じることはないが、講師謝金について、単位推進員会にもう少し独任制を持たせてもらえればいろんな講師を呼ぶことができる。公民館が行う社会教育としての地域学習の今後のあり方に危惧を感じている。当館推進員は女性5、男性2で年齢構成は年代ごととなってはいるが、男性は2人とも70歳代である。推進員の男女比や構成年齢、特に男性の場合の年齢のかたよりがこのまま続けば、地域住民が求める学習要求にこたえていける推進委員会が構成できるのだろうか心配する。
◇世代間の交流。公民館が交流の場になれないか、ロビーの自由な雰囲気等があれば、子供の勉強・打ち合せ、大人も勉強等に使える等
◇講座の参加者は圧倒的に高齢者が多い。子育て世代を呼び込もうと親子の講座を開催しているが、その時は多数の親、両親が参加するが、大人の講座になるとその世代は全く来ない。講座の開催については、土、日曜も組み込んでいるが、思うようにいかない。この世代への取り組み、広報に工夫がいる。
◇山口町は高齢化が進んでいます。地域が広く、公民館から遠い住民も多くおられます。そのため、講座開設しても大半は公民館近辺の人々です。このような現況で「生涯学習や地域づくり」には今の山口公民館から各地域で開設する講座が必要です。
◇公民館運営協議会の開催回数を増やすことにより、懇談を深め、そのご示唆を推進員の活動に生かしていく。
◇公民館講座に参加してくださる方のアンケートからの要望になるので、住民の要望に合わせた課題になっているのか？疑問です。
◇どの団体にも属していない、多くの方へ情報が行き届くにはどうしたらよいか。参加しよう、地域とつながろうという方を増やしていくにはどうしたらよいか。
◇地域づくりという考えに対して、住民当事者の問題意識が希薄。私個人の地域自治会でも行事がない。コミュニティづくりの共通の話題作りで公民館講座を考えたい。しかし、現状、公民館講座の参加者が常連さんになっていて、参加者の広がりが少ない。

- ◇研究集会も各公民館数回発表されていると思いますので、隔年の研究集会のテーマに他県、他市の生涯学習や地域づくりの活動状況の研究会にしては。
- ◇オンライン生涯学習で館に足を運ばなくても受けられる講座が出来るよう環境をつくってほしい。
- ◇現在は、3密を避けるなどの規制

(3) 現在力を入れている学習活動、または今後、推進員として学びたいと考えていること
 講座企画に関わる取組みについて、いくつかの意見がありますが、特に共通の意見や傾向は見出せません。講座企画の専門性や新しい講座の内容・講師に関すること、広報の技術に関することについて意見があります。また、ICTの活用のスキルについても複数の意見があります。

主な意見
◇地域に関わる課題、特に郷土史、関学、神戸女学院の先生方による講座、関西グリークラブコンサート、万葉集に関する講座を大切に（地域の方々に好評な講座）
◇1.17の阪神淡路大震災にちなみ、また当公民館は武庫川、仁川と2本の川の合流点の近くにあり、今日の水害の甚大さに鑑み、毎年1月には防災講座を開いている。
◇今後は、環境・自然科学・時事・国際・文化芸術等の講座がもてるようにしたい。（環境向上のために何ができるか、行動している人達はどのようにしているか。）（子供に向けた講座では、今後、関心が広がり続けてほしい。）
◇高齢者に関する課題を掘り下げた講座を実施しています。広報の新しい手法を学びたいです。公民館間の連携を考えてみたいです。
◇地元の講師を発掘して講座を開く。
◇地域のみなさんが喜んで参加できる講座企画の材料を得たいと思います。
◇ホールを使ったジャズとか、落語とか、人が多く参加できるような講座を考えていきたい。
◇地域の方に参加したいと思わせるには、口コミと講座案内のチラシのウエイトが大きいと考える。特にチラシは回覧、掲示によって地域の方の目に触れる機会が大きい。作成の基礎だけでなく、上級編（プロなみに近い）の研修をしてほしい。
◇今後は講座参加者の募集等にSNS等を利用する技術習得や集会運営の基本となる安全・衛生留意事項等の研修。
◇いわゆるITリテラシーを向上させたいとは思っています。「地域」という視点もいいですが、グローバルな未来への思い等取り込んでいければ素敵かなと思っています。手の届く範囲の話として昨年、40年間アラブで仕事をされていた方に、その時日本がどのように見えていたかという内容で講演をいただき大変好評でした。
◇私自身はコンピューター関連技術・知識は持っていますが、動画編集、リモート会議（ZOOM等）開催等を学習してきました。推進員全員がパソコンメールを取得してもらい、容量の大きいデータの交換ができ、情報交換できるように進めたいです。

(4) 地域の特性や特色をふまえた上で、活動されている公民館に特色をもたせるためのアイデア

公民館が地域コミュニティの交流の核（交流ひろば、情報基地）としての役割を担っていくことや、地域の人から学ぶことの必要性について、複数の意見があります。一方で、公民館利用の実情を踏まえると特色の発揮は不要という意見や、コミュニティの維持という目的そのものの見直しが必要ではないかという指摘もあります。地域の自然や歴史、住民の構成等を踏まえた取り組みのアイデアが複数示されています。また、地域団体との連携について、推進員の負担軽減に効果的という意見があります。

主な意見
◇住みよい地域づくりをめざして気軽に参加できる交流広場のような場所があるとよいですね。
◇高須地区は「樹のまち」、「みどりのまち」、「はなのまち」、「川のまち」、「太陽のまち」、「青空のまち」の6つゾーンから成り立っていて、地区運動会も「まち」対抗となっています。各自治会を統括する自治協議会もしっかりしているので、タイアップして地域を盛り上げる「情報基地」として公民館が利用されればよいと思います。上記近隣の公民館の推進員同士の交流会も有意義であろう。
◇上甲子園公民館の地区は高齢化率も高く、高齢者にとって身近な課題「健康維持、住み替え、介護、終活、相続」等を学び、高齢者間の交流を増し、高齢者の活動として世代間交流へ発展させていく（現役世代、子育て世代への助言、フォローの拡大）に発展できれば、住民間のコミュニケーションが増すと思う。
◇浜脇は宮水があって、酒蔵がたくさんあります。宮水そして日本酒に関する講演を続けています。
◇地域の特性や特色は地理的、歴史的なことに多大に影響されている。当推進員会では地域の歴史や成り立ちを学ぶとともに、地域の人からも学ぶことを常に念頭に置き講座を開催している。これが大きく発展すれば、公民館が社会教育、地域コミュニティのセンターになれるのではないかと考えている。
◇地域の住民の方に講師になっていただく。地域の文化施設との提携
◇当地域は、当公民館を含めて徒歩圏内に4カ所の公民館、2カ所の図書館があり、各々の駐車場は狭く、各々独自に講座等を企画している。参加者の中にはHP等により、独自に講座情報を得て遠路より参加する方もいる。一方、地域ごとの課題は例えば、自主防災組織等の運営に差異があるなど、微妙に相違がある。従って特別に地理的特色を発揮させる必要はなく、地域住民の期待の高い講座を中心に、尚且つ地域課題解決型の講座も逐次企画していくのが良いと考える。
◇現代の時の流れは、公民館活動開始時とは大きく変わっています。地域コミュニティも大きく変わりました。各自治会の加入率も大幅に低下し、もはや「個」の時代になっています。市として、今の時代に旧来の考え方でいいのか、ご一考くださればと思います。
◇武庫川が近く、水害などの危機管理、ハザードマップの見方など、講座で広めていく。

- ◇私たちの地域は、自然に囲まれたいい所です。鳥の声や、珍しい花（雑草含む）が身近にあります。そういう自然を学べる機会を設けたいです。親子教室や、高齢者のグループなどで屋外の学習が出来ればいいと思います。
- ◇廣田神社を題材として講座を考えたい。神社の由来、歴史、神域の推移・変遷などを題材にコバノミツバツツジの花の時期に開催すれば、地域の方々の興味を呼び起こすのでは。
- ◇地域活動に積極的に取り組まれている地域団体と、世話人講座という形で5講座しており、他公民館と比較して多いと思う。これは公民館活動の部分的には推進員の負担を軽減している。推進員は最長3期6年であるが、地域団体は関係ないため、1期の方が支援を受けながら活動しやすい、推進員を含めて多くの方のアイデアが出せ活動が活発になる、推進員の層（子育て世代、中高年者、勤労者など）に関係なく、互助関係で活動でき、地域団体の方と親近感が生まれる。
- ◇比較的若い世代の40～50代の推進員の多い公民館なので、(PTA 活動も活発で子供の数多い)、その世代を中心とした子供から老人までが、交流できる音楽会や語り合うイベントなど。